

こちら奈良市

# 東部出張所です

〜未来のために今できること〜

第51号

令和3年11月1日発

編集・発行  
奈良市東部出張所  
奈良市大柳生町4735  
TEL 93-0001  
FAX 93-0061

こんにちは。東部出張所所長補佐の藤原卓二です。今月は、身近に起こり得る災害「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の三つに分類

することが出来ます。

●土石流とは、大雨などが原因で山や谷の土・石・砂などが崩れ、水と混じって、一気に流れ出てくる現象です。

## 【土石流の前兆】

川や沢の水がにこり流木がまざる／雨が降り続けているのに川や沢の水位が下がる／地鳴りがする等

●地すべりとは、比較的緩い傾きの斜面が、雨水や雪解け水がしみ込んだ地下水の影響によって広い範囲にわたって滑り落ちる現象です。建物や田畑なども一緒に地面が大きな塊のまま動きます。

## 【地すべりの前兆】

地面にひび割れができる／井戸や沢の水がにこる／斜面から水がふき出す等

●がけ崩れとは、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。雨水ががけに大量にしみ込んだことが原因で起きたり、地震の揺れよって起きたりします。

## 【がけ崩れの前兆】

がけからの水がにこる／がけから小石が落ちてくる／斜面のひび割れ、変形がある等

地域の皆様には、土砂災害の前兆にお気づきになられましたら、すぐに避難されますようお願いいたします。



## 柳生街道散策体験記（滝坂の道）

10月に、新たに着任された地域おこし協力隊2名とともに、地域の魅力を知るため、併せて通行状況などの確認のために柳生街道を散策しました。今回は「滝坂の道」についてのレポートとなります。

柳生街道は大きく分けて「滝坂の道」「剣豪の道」「柳生・笠置の道」の3つから構成されております。今回は、近鉄奈良駅方面から始まる「滝坂の道」を、高畑・破石バス停付近からスタートしました。

アスファルトの道を少し歩き、飛鳥中学校を越えたあたりから山道が続きます。今も見られる石畳は、柳生家が將軍家の剣道師範となり大名となった頃に行われた改修工事の名残だと考えられています。前半部分は能登川沿いを歩いているため、川のせせらぎを聞きながらの散策となり、身も心も癒してくれます。

そして「滝坂の道」の魅力の一つとなっているのが石仏。道中にいくつもの石仏が残っており、中でも剣豪荒木又右衛門が試し切りをしたと言い伝えられている「首切り地蔵」はとても有名です。他にも鎌倉時代の作品とされる「夕日観音」「朝日観音」など、見ごたえたっぷりなハイキングコースなので、みなさんも是非歩いてみてはいかがでしょうか？

### 【ご注意】

◆地獄谷石窟物から峠の茶屋へ向ける道は、令和3年10月現在、通行止となっております。

◆「滝坂の道」最終盤の忍辱山あたりは、ハチの巣がありますので通行の際には十分に「ご注意ください」。



## 滝坂の道

★スタート

破石町バス停

寝仏

夕日観音

朝日観音

峠の茶屋

現在通行止め

首切り地蔵

地獄谷石窟物

石屋仏

★ゴール  
月時



(首切り地蔵)



(朝日観音)



北4十

※こちらに掲載の情報は編集の都合上、10月15日現在のもになります。